

小泉進次郎氏や株式会社ユーグレナの出雲充氏 など、注目の登壇者結集!

農業 x テクノロジーで、新しい未来を。3日間のグローバルイベント
「AG/SUM (アグサム) アグリテック・サミット」
最大90%引きとなる特別割引実施中!

日本経済新聞社は5月23～25日にかけて、「AG/SUM (アグサム) アグリテック・サミット*」を開催します。アグリテック (農業 x テクノロジー) のイベントで、4つのプログラムで構成されます。そのうちのひとつ、「AG/SUM シンポジウム」では専門家や有識者がパネルディスカッションを通して農業の未来を語ります。注目の登壇者を迎えた以下のパネルディスカッションの内容が決まりました。

「次世代がつくる新しい農業のカタチ」 (5月24日10:30～)



(写真左より)

パネリスト:

三輪泰史氏 (日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト)

会津宏樹氏 (全国農業青年クラブ連絡協議会(4Hクラブ)会長、会津ひろきりんご園園主)

加藤百合子氏 (株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役社長)

神成淳司氏 (慶應義塾大学 環境情報学部 准教授、医学部 准教授)

モデレーター：

小泉進次郎氏（衆議院議員、自民党農林部会長）

日本農家の平均年齢は数年以内に70歳に到達し、体力的に農業の継続が難しい人の大量離農が懸念されています。しかし、これを日本農業の危機としてみるのではなく、大きなチャンスとしてみたらどうでしょうか。次世代の農家にとって、大量離農は競争相手の減少と農地の規模拡大の可能性を意味します。アグリテックをうまく取り入れられれば、少ない労働力で作物の大量生産が実現できます。多数の小規模農家が働く時代から、少数の大規模農家が活躍する時代へ——その成功の鍵を握るのが、アグリテックなのです。

「食の未来: 私たちは岐路に立っている? ~味の壁を越えた「次世代食品」が世の中を変える! ~」(5月25日10:30~)



(写真左より)

パネリスト：

出雲充氏（株式会社ユーグレナ 代表取締役社長）

ノラ・ハルディ氏（Nuritas 創業者、最高科学責任者）

アルビン・セヴェラン氏（Agama 最高経営責任者、共同創業者）

アッシュ・ロイ氏（株式会社マイセンファインフード マイセングローバル代表取締役）

モデレーター：

クリストファー・フリン・ロザンスキー氏（Plasma Nutrition 最高経営責任者）

これまでは単に生きるために必要なものとして考えられていた「食」ですが、最近は個人のアイデンティティーやライフスタイルを反映するものになりつつあります。食生活を改善して健康の向上を目指したり、環境に配慮して食べ物を選んだり、体に悪い成分が入っていない代替食品を探したり。その新しい嗜好に対応するために、フードテックのイノベーションが起こっています。このパネルディスカッションでは、急成長を遂げているフードテック・スタートアップの代表たちがそれぞれの会社のビジョンと食の未来について語ります。

*AG/SUM アグリテック・サミットとは？

アグリテック（農業 x テック）で新しい農業の創造を目指すイベントです。



日時 2017年5月23日（火）～25日（木）
会場 虎ノ門ヒルズ / 虎ノ門ヒルズフォーラム
（東京都港区虎ノ門1丁目23番1～4号）
主催 日本経済新聞社
ホームページ agsum.jp

AG/SUMは、以下4つのプログラムで構成されます。

- ・シンポジウム -- 国内外の有識者が、アグリテックに関する議論を交わします。
- ・ワークショップ -- トップレベルの専門家から学べるインタラクティブな場です。
- ・ハーベスト -- ハッカソン、アイデアソン、アクセラレーションを組み合わせました。
- ・ランド -- 最先端の技術を取り入れる農業従事者やスタートアップによる展示会。パネルディスカッションが行われるステージもあります。

取材をご希望の方は press@agsum.jp（担当: 齋藤）までご連絡ください。

*上記プログラムの内容や日時は変更となる場合がございます。ご了承ください。